

極秘

參一發第二十一號

參一發第二十一號

(天)

烏蘇里方面ノ情況

通

報

報

大正七年九月十二日

參謀總

13日 官房

(天)

一、我第十師團ハ九月八日「ハバロフスク」ニ於テ「ウラゴエレ左ンスク」方向ヨリ來レル敵砲艦一隻ヲ捕獲シ尚同地陸軍測量部ニ於テ沿海州黒龍州各種地

圖多數及器具數十函ヲ押收セリ

二、我無線電信隊ノ一部九月九日「ハバロフスク」無線電信局ニ入り同日正午ヨリ在「ビギン」我無線電信隊通信所ト通信ヲ開始セリ

三、第十師團司令部ハ十日「ハバロフスク」ニ入り該地ハ目下靜穩ナリ

四、九月九日浦潮派遺軍司令官ニ對シ同軍ハ爾後確實ニ沿海州内ニ於ケル治安ヲ維持シ且所要ノ兵力ヲ以テ黒龍鐵道及黒龍江ニ沿ヒ西進シ黒龍州ニ於ケル敵ノ勢力ヲ剽滅スルニ努力ムヘキ旨訓令セラレタリ

(天)

0635

北滿方面ノ情況

一、關東都督ハ浦潮派遣軍ニ策應シテ黑龍州方面ノ敵ヲ脅威セシムル爲左
記部隊ヲ船橋少將(芳藏)ノ指揮ニ屬シ黑河方面ニ派遣スルヲトセリ

歩兵第十四旅團司令部

歩兵第二十八聯隊(第三大隊欠)

騎兵半中隊

野砲兵一中隊

工兵一中隊(一小隊欠)

衛生班半部

該部隊 船橋支隊
ト稱ス ハ目下齊々哈爾ニ集合中ニシテ此支隊ノ先遣隊タル

歩騎兵若干ハ九月十日頃出發ノ豫定ナリ

0636

勅 動第五號

動員令

第二師團ニ於テ野戰建築部一箇第十師團ニ於テ
建築輸卒隊一箇ノ動員ヲ令セラレ動員第一日八九

月十六日ナリ

大正七年九月十五日午前十一時五十分

陸軍大臣大島健一

海軍大臣加藤友三郎殿

軍務局

出

出

出

出

出

出

陸軍

0637

供償

大

編第十號

小林

原

中

軍務局

第一師團ニ於テ兵站司令部ニ箇兵站監部一箇第

四師團ニ於テ野戰所設部一箇第五師團ニ於テ野戰

砲兵廠被服補修部野戰衛生材料廠各一箇留守

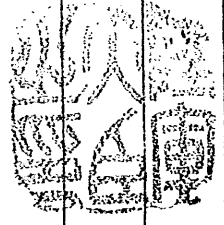
第十二師團ニ於テ臨時兵站電信隊野戰工兵廠編

成ヲ令セラル編隊第一日ハ九月十六日ナリ

大正七年九月十五日 午前十一時五十分

陸軍大臣大島 健

海軍大臣加藤友三郎 殿



出

出

陸軍

0638

覽

極秘

參一發第二十二號

大正七年九月十四日

參謀總長

北滿方面ノ情況

通

報

軍務局

一、九月五日夜「オロウヤーンナヤ」ヲ出發シ鐵道ニ依リ「カルイムスカヤ」ニ前進シ
アリシ我騎兵第七聯隊ノ主力ハ十日夜ヲ以テ「子ルチンスク」ニ進入セリ

二、船橋支隊ノ先遣隊タル騎兵半中隊ハ九月十日午前八時、三宅少佐ノ指
揮スル歩兵二中隊、機關銃一小隊、工兵一小隊及衛生班ノ一部ハ十一日午前八時
各、齊齊哈爾ヲ出發シ黑河ニ向ヒ前進セリ

ハバロフスク方面ノ情況

一、我第三師團長ハ黑龍州ニ於ケル敵ヲ擊攘スル目的ヲ以テ黑龍鐵道
及黑龍江ニ依リ次々如ク各部隊ヲ「セーヤ」河ノ線ニ前進セシム
山田少將ノ指揮スル歩兵四大隊騎兵野砲兵工兵鐵道各一中隊裝甲列

第一師團

0639

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

7.9.14
官房受領

車等ヨリ成ル一支部ヲニ梯團ニ區分シ西進セシメ其第一梯團ノ先頭ハ
九月五日朝ハバロフスタラ發シ同日午後二時「イン」ニ達ス
米國軍一大隊及支那騎兵中隊モ此支部ト同行ス

右ノ支部ニ策應スル爲野瀨工兵中佐ノ指揮スル歩兵一大隊及工
兵一小隊ハ國獲砲艦ニ乘シ黑龍江ヲ溯リ「ウラニエ」チエンスクニ
向フ

ハ、航空隊ハ九月五日黑龍鐵道沿線ノ偵察ヲ實施ス



極秘

參一發第二十三號

大正七年九月十五日

參謀總長

「ハバロフスタ」方面ノ情況

出

帝

進セリ

水

吉

前

一、山田少將ノ指揮ニ屬シ黑龍鐵道ニ依リ西進スヘキ部隊ハ其列車
 團ヲ前衛及本隊ニ區分シ前衛ノ列車團ハ更ニ之ヲ尖兵前兵
 及前衛本隊ト三列車ニ區分シ山田少將ハ前衛本隊ト同行ス
 而シテ尖兵ノ列車ハ十二日午後六時二十分、前衛本隊ノ列車ハ同
 七時五十分「ビラ」ニ達セリ然ルニ敵ハ從來屢々「オブルチエ」附近
 ニ於テ鐵道破壊ニ任シタルコトヲ知り速ニ該地附近ノ隧道ヲ右
 帝領スル爲十三日午前二時「ビラ」ヲ出發シ「オブルチエ」ニ進
 進セリ

二、野瀨之兵中佐ノ指揮スル部隊ハ借上汽船三隻ニ分乘シ、露人
 ノ探縦スル砲艦ニ隻ヲ伴ヒ九月十三日「ハバロフスタ」ヲ出發セリ



官房受領

1 別ニ砲艦ニ隻及武装汽船ニ我海軍陸戦隊ヲ分乗セシメ野
瀬中佐ノ部隊ニ追及セシムル等ナリ

0642

供覽

極秘

參一發第二十四號

大正七年九月十六日

參謀總長

沿海、黑龍兩州方面情況

○

山田少將ノ指揮スル部隊ノ將校弁候ハ九月十三日午後二時
オブルキ正驛ニ進入セルモ敵ヲ見ス

○

軍務局

敵ハ退却ニ際シキムカニ驛西方第一隧道ヲ破壊シ同第二
隧道ニ阻絶ヲ施シ尚第一隧道西方ノ橋梁ヲ破壊セシヲ以テ
我部隊ハ直ニカ復舊作業ニ著手シ上記第一隧道ハ十三日

午後三時完成シ其西方ノ橋梁ハ同八時完成、豫定ニシテ
第二隧道ハ十三日ハ尚土人ヲ使役シテ復舊作業中ニヤリ

三情況右ノ如ク我部隊ノ前進ヲ遲滯シ益々敵ニ時間ヲ與フルノ
不利アルヲ以テ第十三師團長ハ騎兵第十二聯隊(一中隊欠)ヲ
山田少將ノ指揮スル支隊ニ増加セリ

7.9.16
官房受領

ス 談支隊ハ十四日午後四時「ハバロフスク」出發鐵道ヨリ追及

0644

供覽

極秘

參一發第二十五號

（大）

通

報

林

大正七年九月十七日

參謀總長



7.9
官房受領

軍務局

（井出）

一、第三師團長隸下部隊、後貝加爾州進入ニ伴、將來軍事行動ニ關シ
九月十二日關係諸官へ左記要旨ノ訓令發セラレタリ

ノ帝國陸軍ハ其露領派遣部隊ヲ以テ後貝加爾州及其以東ニ於ケル
獨塊兩國及之ニ加擔スル勢力ヲ驅除シ該地方ノ治安ヲ維持セントス

ニ、第三師團長ハ其隸下部隊ノ主カラ「ナタ」カイルムスカヤ間ノ地域ニ集

結シ且ツ後貝加爾州内必要ト認ムル地點ニ所要ノ兵力ヲ配置シテ該
地方ノ治安ヲ維持スルニ

（小）
時所要ノ兵力ヲ黑龍鐵道沿線ニ差遣シテ浦潮派遣軍ニ策應
スルヲ要ス

3、關東都督ハ其隸下部隊ヲ以テ主トシテ其守備管區（滿洲及「ガジム

0645

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

「ルスキ」¹「ホルヂヤ」²ノ線(含ム)以東ノ後見加爾州(内ノ警備並第三師團長隸下部隊ニ對スル補給ヲ担任ス)

藤井支隊ノ編成ヲ解ク

ニ、第一欸ノ訓令ニ基キ關東都督ノ取りタル部署ノ大要左ノ如シ

一、第七師團(騎兵第七聯隊ヲ屬ス)ハ「ホルヂヤ」¹「ボクウ」²「チナヤ」³間ニ於ケル鐵道並我軍事諸施設ヲ掩護ス

現ニ第三師團長隸下部隊行動地域ニ在ル部隊ハ第三師團同地到着後關東都督守備管區ニ轉移ス

2、獨立守備隊ハ哈爾濱(含マス)以南ニ於ケル鐵道並我軍事諸施設ヲ掩護ス

3、前ニ項ニ基キ第七師團及獨立守備隊ノ配置變更ハ概テ第三師團長隸下部隊ノ集中完結後之ヲ實施ス

4、藤井支隊ノ名稱ヲ廢シ船橋支隊(黑河方面ニ出動中ナルモノ)ヲ第

七師團長ノ指揮下ニ移ス

極秘

參一發第二十六號

大正七年九月十七日

參謀總長

沿海黑龍兩州及北滿方面情況

沿海黑龍兩州方面情況

一、オフルチエ台領ノ目的ヲ以テ山田少將ノ部隊ヨリ派遣セラレタル先遣支隊歩
兵少佐大嶋驍ノ率ユル歩兵中隊機關銃小隊及米國兵一小隊ハ遺棄トヤ
リレ列車ニ搭乗シ退却スル敵ノ列車ニ追尾シツ、敵火ヲ冒シテ前進ヲ繼續シ
九月十四日午前七時二十分「アルハラ」(「ハバロフスク」ノ西方約百十里ニシテ「ヴラゴ
エレチエンスク」迄鐵路延長約八十里)東方ノ「ハラ」河橋梁ニ達ス然ルニ敵ハ
同橋梁ヲ破壊セシヲ以テ爾後ハ下車追撃シ「アルハラ」驛ニ進入シ直ニ列車ヲ
編成シ先ツ歩兵中隊ヲ搭載シテ午後三時三十分發「レーヤ」河線ニ向テ前進セ
シメ殘餘ハ列車ノ編成完了ヲ待テ之ニ追及スル筈ナリ
「アルハラ」驛東方ニ於テ先戰闘中我下士三名戰死セリ

0647

二、黑龍江ヲ溯航セル野瀨中佐ノ率元部隊ハ十四日午後三時「ミハイロセメノカ」ニ到着セリ
曩ニ浦潮ヨリ「ハバロフスク」ニ到着セシ我海軍ノ陸戰隊ニ部ヲ「ハバロフスク」ニ駐メ
主方ハ鹵獲艦船ニ搭乗シ十六日朝出發黑龍江ヲ溯江シ野瀨中佐ノ率元部
隊追及ノ途ニ就ケリ

北滿方面情況

一、船橋支隊先遣隊ハ十月日頃黑河到着豫定ニシテ支隊主力ハ二梯團トナ
リ其第一梯團(支隊司令部歩兵ニ中隊機關銃隊ノ主力野砲兵中隊ニ兵小隊衛
生班一部及臨時輜重ノ一部)ハ九月十三日齊齊哈爾出發十月四日頃黑河到着
豫定ナリ第二梯團(支隊殘餘)ハ爾後成ルハ速ニ出發シ第一梯團ニ追及ス
而シテ第一梯團ハ十三日齊齊哈爾省城ニ達セリ

二、騎兵第七聯隊將校乍候ハ「ネルチンスク」方向ヨリ東北ニ前進シ九月十二
日既ニ「モゴチヤ」(「カルイムスカヤ」ヨリ)約百五十里ニ進入セリ

秘

共覽

編第十一號

參謀本部ニ於テ鐵道線區司令部野戰交通部

各一箇第一師團ニ於テ臨時測圖部一箇ノ編成ヲ令

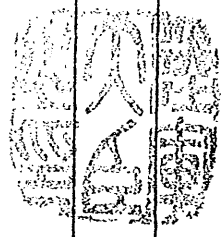
セラル編成第一日八九月十九日

大正七年九月十八日午後五時

印

陸軍大臣大島健一

海軍大臣加藤友三郎殿



第一課
第二課

印

印

印

印

印

陸軍

檢

印

7. 19
受領

0649

[Handwritten signature]



極秘

參一發第二十七號

九月十八日 左記部隊ノ沿海州方面派遣ヲ令セラレタリ

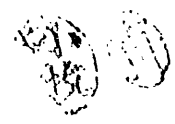
參謀總長

大臣官房 庚



7.9
官房長官

軍務局



通 報

第十二師團兵站監部

兵站司令部二箇

臨時兵站電信隊

野戰砲兵廠

野戰工兵廠

被服補修部

野戰衛生材料廠

建築輸卒隊

各一個

623

ル右
豫ノ
定諸
十隊
リハ
九
月野野
二十戦戦
八日防建
乃疫築
至部部
十月
一日
頃浦潮
二
到達

0651

傳

極秘

參一發第二十八號

大正七年九月二十一日

參謀總長

黑龍州及後貝加爾州方面ノ情況

黑龍州方面情況

軍務局

一、我騎兵第十三聯隊ハ其小嶋(吉藏)中隊ヲ以テ九月十日正午ホチカレーヲ占領シ引續キアレキセーフスクヲ占領セリ又其神野(儀三郎)中隊(歩兵小隊ヲ附ス)ヲ以テ同日午後土時三十分ヴラゴエニ至リテ占領シ聯隊ノ主カハヴレムンニ向ヒ急進セリ

小嶋中隊ハホチカレーヲヨリアレキセーフスクニ向テ前進中獨煥俘虜若干及機關銃ニテ獲セリ文山田少將ノ指揮スル部隊ノ主カハ八日エカテリノスラフクニ到着セリ

二、黑龍江ヲ溯江セル野瀨中佐ノ船團ハ十九日午前五時ヴラゴエニ至リテ到着セリ

三、長途齊齊哈爾方面ヨリ黑河ニ騎行シ來ル船橋支隊所屬ノ騎兵半中隊ハ九月八日未明ヴラゴエニ至リテ進入シ又數旬以來此方面ニ於テ同志ヲ糾合中ナリシカ



7.9.22
實用要領

モフノ指揮スル「アムール」支隊亦我騎ト共ニ「ウラユエ」ニ進入セリ
獨壇俘虜約千五百名ハ武裝ノ儘止日夕「ウラユエ」ニ在リテ「ウラユエ」ノ方向ヨリ黒河ニ到着シ之ニ
對シ支那國兵我騎兵ト協カレ監視ニ任シ十八日ハ日支側ノ要求ニ依リ武裝ヲ解除セ
シムル筈ナリ

四、情況以上如クナルヲ以テ在浦潮大谷軍司令官ハ九月十九日第工師團長ニ對シ師團ニ成
シ得ルヲ引續キ速ニ黑龍州ニ於ケル敵ノ勢力ヲ剿滅シ爾後同州ニ於ケル治安ヲ維持ス
ヘク努ムヘキ旨訓令セリ

五、我部隊「ウラユエ」ニ進入ニ方リ何等我ニ抵抗ヲ試ルモノナカリシモ同市ニ尚若干
ノ敵兵潜伏シアルカ如シ又「ウラユエ」ハ「ハバロフスク」ノ方向ヨリ黒龍江ヲ溯航退却ト來リシ敵汽
船土隻ハ多クハ九月中旬頃既ニ黑龍哥薩克ノ爲ニ捕獲若クハ撃破セシメタリ

後貝加爾方面ノ情況

一、カライムスカヤノ方向ヨリ黒龍州方面ニ前進セシ第七師團柚原支隊歩兵二大隊
騎兵聯隊及砲兵中隊ヲ基幹トスル先頭部隊ハ九月十七日「モゴチヤ」ニ達シ引

キ績キ「タフツガール」ニ向て前進セリ又同支隊ノ主力ハ十七日「ネムナンス」ニ達シ
同日「タフツガール」ニ向て前進セリ
ニ「タフツガール」東方約四里ノ地點ニ十六日装甲列車ニヲ有スル約六百ノ敵停
止シテタリ

0654

極秘

極秘

初

參一發第二十九號

大正七年九月二十三日

參謀總長

參一發第二十八號中正誤

- ◎ 黑龍州方面ノ情況、三、一行目、「騎行し來ル」ノ誤ナリ
- ◎ 黑龍州方面ノ情況、三、三行目、「我騎ト共」ハ「我騎ト共」ノ誤ナリ
- ◎ 後員加爾方面ノ情況、二、「タプツガール」ノ下ニ「」ヲ附ス

約四十名ノ敵ヲ奇襲シ午後九時同地ヲ占領セリ又騎兵聯隊ノ主力及支援歩兵一中隊ハ十九日午前九時三十分アレキセーフスク東側「セーヤ」河橋梁附近ニ於テ敵ノ砲艦七隻ト交戦シ其ニ隻ヲ捕獲シ他ノ二隻ヲ下流ニ又他ニ隻ヲ上流ニ撃退セリ同日午前十時三十分山田少將ノ指揮スル部隊ノ主力亦「アレキセーフスク」ニ到着シ同地停車場附近ニ於テ装甲列車

0000

0656 0655

7.9.20
官廳受取

極秘

參一發第二十九號

(初)

林川

大正七年九月二十三日

參謀總長

7.9.24

官廳受領

沿海、黑龍、後貝加爾三州及北滿方面之情況

一、ニコラエフスク守備隊タル第十二師團ノ歩兵一大隊(三中隊欠)ハ九月十九日午後五時三十分「ハバロフスク」ヨリ目的地ニ向ヒ出發セリ

黑龍州方面之情況

一、黑龍鐵道方面ニ於テハ我騎兵一中隊ハ九月十日「アレキセーフスク」ニ在リシ約四十名ノ敵ヲ奇襲シ午後九時同地ヲ占領セリ又騎兵聯隊ノ主力及支援歩兵一中隊ハ十九日午前九時三十分「アレキセーフスク」東側「セーヤ」河橋梁附近ニ於テ敵ノ砲艦七隻ト交戦シ其ニ隻ヲ捕獲シ他ノ二隻ヲ下流ニ又他ニ隻ヲ上流ニ擊退セリ同日午前十一時三十分山田少將ノ指揮スル部隊ノ主力亦「アレキセーフスク」ニ到着シ同地停車場附近ニ於テ裝甲列車

0656 0655

二、探照燈及多量數、武器彈藥ヲ鹵獲セリ

「アレキセーフスク」ニ在リテ敵ハ主カヲ以テ「セーヤ」河上流ニ一部ヲ以テ西方ニ退却シ我騎兵ノ主カハ之ヲ追撃中ナリ

「アレキセーフスク」市附近ノ戦闘ニ於ケル我損害戦死上等兵一、負傷將校一、兵卒五十ナリ

二、黒龍江方面ニ於テハ九月十九日午前十時迄ニ我部隊ハ「ウラゴエ」左ノスレ市ノ黒龍江艦隊根據地、修理工場、各埠頭、汽船運輸會社、舊水路部、陸軍兵營ニ部、倉庫、如キ諸要所ヲ台領シ又野瀨中佐ノ指揮スル部隊ハ同市ニ於テ小銃五百、野砲一門、砲彈二千四百發、汽艇三十隻、毒瓦斯原料及覆面三十箱、機關車三輛、自動車七輛、客車貨車其他雜品ヲ押収セリ

二十日我砲艦ハ「セーヤ」河ヲ溯航退却セル敵艦ヲ追撃ス

三、第士師團長ハ主日「ハバロフスク」出發先ツ「ホチカロー」ニ前進ス

後貝加爾州方面情況

一、相原支隊、騎兵聯隊主力ハ九月十八日「夕」ツガールヲ出發シ黑龍州

内「ル」ゴオ「」方向ニ前進ス

ニ、此方面ノ敵ハ列車ニ依リ移動シツツアリ

北滿方面ノ情況

一、第三師團ハ九月十八日ヨリ二十一日迄ニ既ニ歩兵第六聯隊（大隊本部）

及四中隊（欠）並師團電話隊ヲ長春以北ニ輸送シ其先頭ハ二十一日午後

布哈圖ニ到着シ師團司令部ハ二十一日午後長春ヲ出發セリ

0658

動第六號

動員令

第一師團ニ於テ兵站司令部ニ箇、兵站電信中隊
一箇、第二師團ニ於テ陸上輸卒隊五箇、第四師團ニ
於テ建築輸卒隊二箇、留守第十二師團ニ於テ糧
秣蒐集部二箇、動員ヲ令セラル動員第一日ハ
九月二十六日ナリ

大正七年九月二十五日午後四時

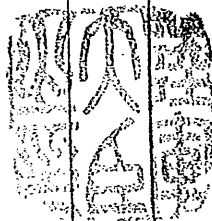
陸軍大臣大島健一

海軍大臣加藤友三郎 殿

軍務



手



陸軍

7 9. 26
第 受 領

0659

裁
編第十二師

近衛師團ニ於テ豫備馬廠一箇、第一師團ニ於テ兵站監
部、野戰砲兵廠、野戰衛生材料廠、野戰防疫部各一
箇、留守第三師團ニ於テ野戰建築部一箇、第四師團ニ
於テ被服補修部一箇、第十師團ニ於テ野戰工兵一廠一
箇ノ編成ヲ令セラル編成第一日ハ九月二十六日ナリ

大正七年九月二十五日午後四時

陸軍大臣 大島健一

海軍大臣 加藤友三郎 殿

陸軍

7. 9. 26
頁受領

0660

軍務局

伊藤

極秘

參一發第三十號

大正七年九月二十五日

參謀總長

(丸)

後貝加爾、黒龍兩州方面情況

(丸)

(丸)

(丸)

一、^{チヤソワヤ}ヨリ黒龍江^ヲ下リ九月二十日夕[「]レーノワ[」](^{ウラゴエシチエンス})

ク上流約百四十里ニ達セシ我騎兵第七聯隊將校在候(長中尉

内海東)ノ報告ニ依レハ十六日[「]ウラゴエシチエンス[」]ヨリ黒龍江^ヲ

溯レル敵ノ一部ハ十九日同河右岸(支那境域)ナル^{モウ}模河^ニ上陸セルモ

ノ[「]如ク又從來[」]レーノワ[」]ニ在リシ敵約九百及[「]ルフロオ[」](^{マダダガチ})

[「]ウシニムン[」]西方約二十七里間ニ在リシ敵約二千八何レモ二十日東方ニ

退却シ目下[「]ルフロオ[」]以西ニアル敵兵力約三四百ナリト

ニ、[「]柚原支隊騎兵聯隊ノ主力ハ二十日[」]エフレイバウロウイツチ[」]ニ前進セ

リ尚[「]柚原支隊ヨリ歩兵一小隊ヲ二十日早朝[」]チヤソワヤ[」]出發^{模河}

ニ派遣シ該地ニ在ル支那軍隊ト連絡セシム

0661

7.9.25

三、柚原支隊騎兵聯隊ト共ニ行動シツツアリシ「チエックスロワツク」軍
及西伯利政府軍ノ各一部ハ既ニ全部撤回シ「ヴォルガ」戦線ニ
向ヒ西進セリ

參一發第三十九號中正誤

黒龍州方面情況一、五行目、二、復タ、三、復タ、誤ナリ

0662

軍務局

供

編身十三號

近衛師團ニ於テ臨時鐵道聯隊一箇ノ編成ヲ令セ
ラル編成第一日ハ九月三十日ナリ

大正七年九月二十九日辛酉前土時五分

陸軍大臣大島健一

海軍大臣加藤友三郎殿

陸軍

0663

7.9.30

機密

不

參一發第三十一號

大正七年九月二十六日

參謀總長

極秘

黑龍後貝加爾沿海三州方面ノ情況

黑龍州方面ノ情況

其一第十二師團方面

一我騎兵第十二聯隊ノ一中隊(工兵一小隊ヲ附ス)ハ九月

二十一日正午ルフロオニ於テ確實ニ柚原支隊ト連絡

セリ

二騎兵第十二聯隊ノ主力ハ九月二十二日朝ウレム山北

方約五里半ウラガ子附近ニ於テ約三百ノ敵ヲ攻撃シ

多大ノ損害ヲ與ヘテ之ヲ擊退シ乘馬五十馱馬二十小

銃百ヲ鹵獲セリ聯隊ハ尚前進ヲ續行シ二十三日セリヤ

市ニ進入セリ

軍務局

第一師團



7.9.28 曾原受附

0664

三是ヨリ先山田少將ハ敵ノ主力セイヤ市方面ニ退却セシ
モノノ如クナルヲ知ルヤ九月二十一日ウレムンニ翌
二十三日ツイグダ(ウレムン西北約十里)ニ達シ次テニ
十三日午前六時同地ヲ發シセイヤ市ニ向ヒ前進シ尚野
瀬中佐ノ率ユル艦船ヲシラセイヤ河ヲ溯航シテ之ニ策
應セシメタリ

四騎兵第十二聯隊セイヤ市進入後ニ於ケル山田支隊位置

概要左ノ如シ

(一) 騎兵聯隊ノ主力及第一中隊セイヤ

(二) 前衛タル歩兵一大隊特種砲二隊オスウヤンガ(セイヤ西南方約十里)

(三) 支隊司令部歩兵二中隊カフトラマ(オスウヤンガトツイグダトノ中間セイヤ道)

ツイクダ(ウレムン西北約十里)

(四) 騎兵一中隊ルッロオ

歩兵一中隊米軍歩兵一中隊ウレムン

歩兵四中隊後方守備及鐵道破壞部ニ於ケル糧秣輸送
其第十二師團長ハ九月二十四日水ケカレオニ二十五日
ガラゴエチエンスクニ向ヒ前進セリ

其二、第七師團方面

一、柳原文隊ニ屬スル内海將校休候(四十騎)ハ二十日、
ワニ上陸シ二十一日、オリドイ(北ラウ西方
約十二里)ニアリシ敵ニ勸
告シテ同日午後十一時遂ニ之ヲ降伏セシメ多数ノ捕
虜ヲ得タリ尚装甲列車三砲八門(野砲ニ加農一榴彈砲
三山砲三機關銃九小銃五百其他多数ノ馬匹彈藥器具
材料ヲ鹵獲セリ

二、騎兵第七聯隊ハ九月二十二日、ルフロオニ急行シ又磯林
大佐ノ指揮スル歩兵二中隊砲兵一中隊ハ、ウルレヤ(ルフロ

オ_レ西方約二十四里ニ_テ柚原文隊ノ主力ハ二十二日「アマゾウル」ニ向
ヒ前進セリ

後貝加爾州方面ノ情況

一 柚原文隊ニ協カスヘキ任務ヲ有スル第三師團ノ前川
支隊(長步兵大佐前川讓吉ニシテ步兵一大隊ヲ基幹ト
ス)ハ九月二十三日午後一時三十分「カルイムスカヤ」ヲ發シ
「モゴジヤ」(カゾフガトル西方約六里)ニ向ヒ派遣セラレタリ

ニ 第三師團司令部ハ九月二十四日午後滿洲里ニ到着セリ

沿海州方面ノ情況

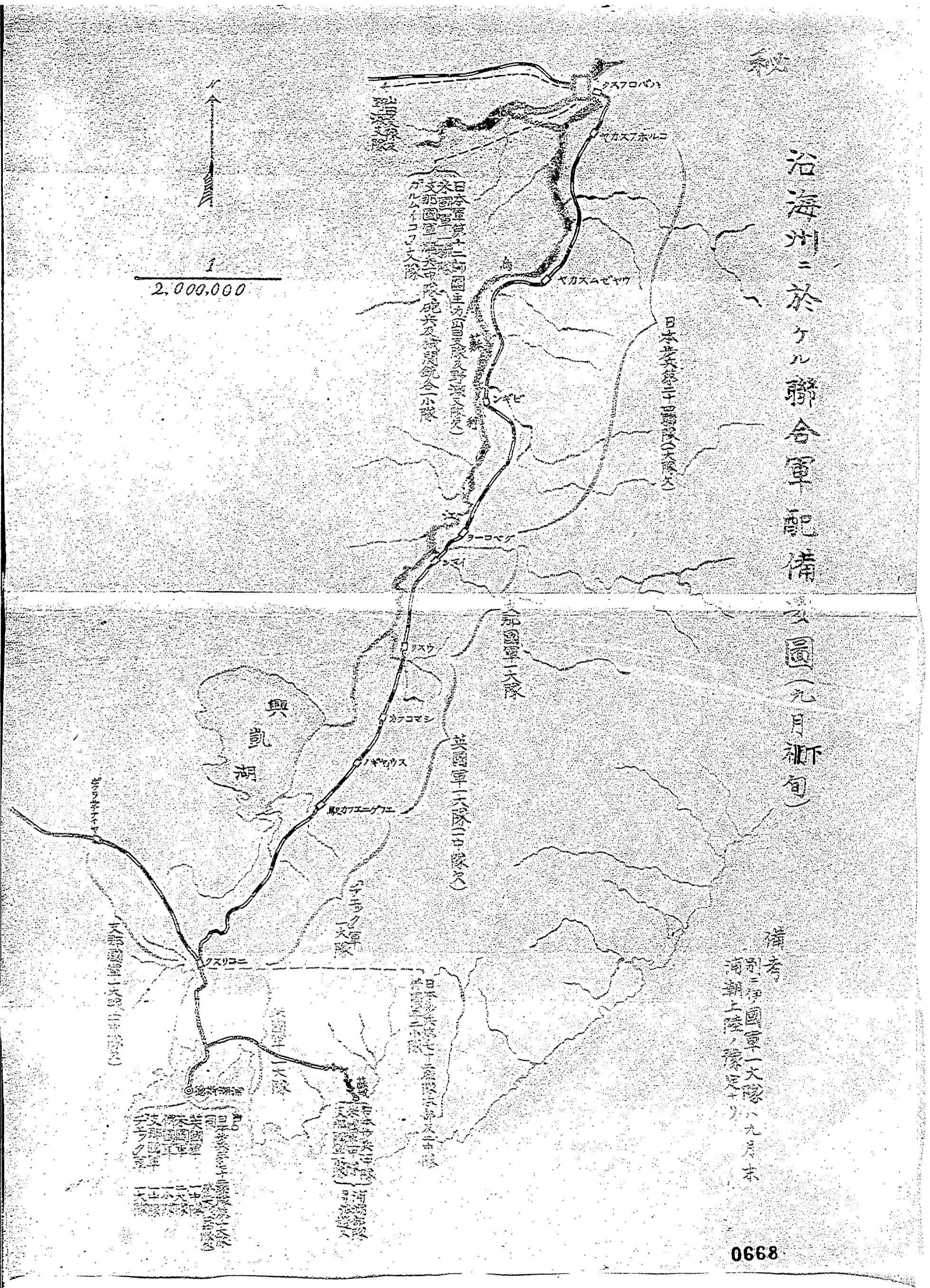
一 沿海州ニ於ケル聯合軍ノ配備別紙要圖ノ如シ

沿海州ニ於ケル聯合軍配備圖（九月下旬）

備考

別ニ伊國軍一大隊ハ九月末
海潮上陸ノ豫定ナリ

0668



長

秘

參一發第三十二號

大正七年九月二十七日

參謀總長

極秘

沿海、黑龍、後貝加爾三州方面ノ情況

黑龍州方面ノ情況

一、山田少將ノ指揮スル部隊ハ引續キ所在ニ残存セル敵ノ掃蕩ニ任シ

特ニ其騎兵部隊ハ「セイヤ」市北方金鑛附近ヲ搜索中ナリ

二、九月十八日頃以來右部隊ノ鹵獲品詳細及俘虜左ノ如シ

(ハ)鹵獲品

砲艦四隻、汽船其他船舟五十五隻、装甲列車三、

客車貨車三百二十四輛、火砲十二門、彈藥車三十輛、

砲彈約一萬發、小銃約五十、機關銃五、小銃實

包約二十五萬發、火藥二百五十箱、銃劍約三百本、探照燈

探海燈各一箇、自動車若干及多數ノ糧食、被服、卷貝類

第一課
第二課

7.9.29
官房受領

0669

(ロ) 俘虜約三百名

三、第十二師團方面ニ於ケル最近我死傷ハ戦死下士以下 七名、負傷將

校歩兵第四十七聯隊少尉渡邊正雄及下士以下六名ナリ

四、敵ハ第十二師團ノ前進ト後貝加爾及黒河方面ヨリスル女軍ノ脅威トニ

依リ「ゼーヤ」鑛山方向ニ退却セントシタルモノノ如キモ我前進ノ迅速ナリ

シ為之ヲ果サス殊ニ「ヴラゴ」エニシテ附近ニアリシ敵ハ水路「ゼーヤ」河

上流地方ニ退却セントスルヤ到ル所陸上ノ我部隊ニ阻止セラレ一部ハ

降伏シ大部ハ夜暗ニ乘テ四散シ所在ノ村落又ハ鑛山ニ潜入シテ良民

ヲ装ヒ且其首領ハ「ヤク」ツク方面ニ遁走ヲ企テツアルモノノ如シ

五、山田支隊ハ引續キ「ゼーヤ」鑛山及其附近ノ搜索並黒龍江掃河ヲ實

施シ其終了ト共ニ地方及鐵道警備ノ姿勢ニ就ク答

沿海州方面ノ情況。第十二師團ノ第三梯團九月二十四日浦潮ニ於テ其上陸ヲ完了セリ

後貝加爾州方面ノ情況。歩兵第六聯隊ノ一大隊(ニ中隊欠)ハ九月二十五日午後

一時「カタ」ニ到着セリ

極秘

參一發第三十三號



通報



參謀總長

大正七年九月二十九日

第七糧秣蒐集部ヲ第十二師團長ノ隸下ニ屬シテ沿海州
方面ニ又左記ノ部隊ヲ關東都督ノ隸下ニ屬シテ北滿州
方面ニ派遣セララルル旨九月二十七日發令セラレタリ

左記

關東兵站監部

第一師團第三第四兵站司令部

兵站電信第一中隊

關東野戰砲兵廠

關東野戰工兵廠

關東豫備砲廠

關東被服補修部
關東野戰衛生材料廠
第四師團第一第二建築輸卒隊
第二師團第二乃至第五陸上輸卒隊
第八糧秣蒐集部
關東野戰建築部
第一野戰防疫部

極秘

參一發第三十四號

傳

參謀總長

大正七年九月二十日

黑龍後貝加爾兩州方面ノ情況

一、第七師團ノ袖原支隊ハ九月二十三日其騎兵隊ヲ以テ「ル

フロオ」ニ、其他ノ部隊ヲ以テ「ウルシヤ」ハ「タフツガール」東

方約七十里）「アマツウル」ハ「タフツガール」東方約十英里）及

「モゴヂヤ」ハ「タフツガール」西方約六里）ニ到着セリ

二、

第三師團ノ前川支隊ハ九月二十五日「アマツウル」ニ進入セ

セシカ袖原支隊前面ノ敵既ニ二十一日降伏セシヲ以テ其

一中隊ヲ「モゴヂヤ」附近ニ残置シ主力ハ二十六日ヨリ「ネルク

ンスク」附近ニ後退セリ

三、第三師團司令部ハ九月二十六日夜「タタ」ニ到着セリ

0673

伊藤

軍務局

參一發第三十五號

(印)

九月二十九日 我浦潮派遣軍及關東都督隸下部隊ニ對シ左
ノ如ク 勅語ヲ賜レリ

通報

大正七年九月三十日

參謀總長

勅語

我浦潮派遣軍及關東都督隸下部隊ハ與國軍ト協同
シ奮進長驅克ク短少ノ時日ヲ以テ至大ノ成績ヲ收
メタリ朕深ク其勇邁ヲ嘉ス惟フニ軍國ノ前途ハ尚
遼遠ナリ時方ニ祁寒ニ向フ汝將卒自重堅忍以テ重
任ヲ完ウセヨ

勅語

7.10. 1
官房受領

極秘

參一發第三十六號

大正七年九月三十日

參一發第三十三號中正誤

第一行、大正七年九月十九日、九月二十日、誤ナリ

區、疆域ニ關シ左、如ク命令セラレタリ

浦潮派遣軍行動地域ト第三師團長隸下部隊行動地域トノ

境界、黑龍後貝加爾州界、浦潮派遣軍行動地域ト關東都督

守備管區トノ境界、露支國境(烏蘇里河及黑龍江、浦潮派

遣軍ニ含ム)ノ線トス

第三師團長隸下部隊行動地域ト關東都督守備管區トノ境界、從

來ニ同シ

0675

極秘

參一發第三十六號

大正七年九月三十日

參謀總長

通報

九月三十日浦潮派遣軍司令官ニ對シ同軍ハ爾後沿海州及黑龍州ニ於ケル治安ノ維持ニ任シ且該地方ニ於ケル秩序ノ確立ニ努ムヘキ旨訓令セラレ又同軍及第三師團長隸下部隊行動地域竝關東都督守備管區ノ疆域ニ關シ左ノ如ク命令セラレタリ

浦潮派遣軍行動地域ト第三師團長隸下部隊行動地域トノ境界ハ黑龍後貝加爾州界、浦潮派遣軍行動地域ト關東都督守備管區トノ境界ハ露支國境(烏蘇里河及黑龍江)浦潮派遣軍(含ム)ノ線トス

第三師團長隸下部隊行動地域ト關東都督守備管區トノ境界從來ニ同シ

0675-2

0675

極秘
參一發第三十七號

大正七年九月三十日
參謀總長

黑龍、後貝加爾、兩州方面ノ情況

一、第七師團、柚原支隊ハ「オリドイ」(「ルコロ」西方約十二里)附近ニ於テ
曩ニ參一發第三十號ヲ以テ通報セシ裝甲列車、火炮、機關銃、外ハ
銃約千六百、軍刀約百、通信器二個、砲彈約七千發、小銃實自約六萬
發、其他多數ノ被服雜品ヲ鹵獲セリ而シテ同支隊ハ行動地域ノ關係
上、第七師團ノ部隊ト交代シ九月二十六日ヨリ逐次出發、關東守備管
區内ニ後退、途ニ就キタリ

二、第三師團、歩兵第六聯隊第三大隊(一中隊欠)ハ九月二十日「チタ」ヲ
通過シ「ウエルフネウージンスク」ニ向ヒ前進セリ

0676

動第 七 號

動員令

衛師團ニ於テ兵站病院一箇第一師團ニ於テ兵站
病院兵站病馬廠各一箇第二師團ニ於テ兵站病馬
廠一箇第三師團ニ於テ兵站電信中隊一箇ノ動員ヲ令
セラル 動員第一日八十月三日ナリ

大正七年十月一日午後五時十分

陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 殿

第二課 小坂

大臣官房 庚

7.10. 2

房受領

0677

朱

極秘

參一發第二十八號

大正七年十月一日

參謀總長

大正官房

印

沿海黑龍兩州及北滿方面ノ情況

沿海州方面ノ情況

一九月十九日夕ハハバロフスク出發黑龍江ヲ下航セルニヨラエフスク守備隊ハ二

印

十四日午前三時目的地ニ到着セリ

黑龍州方面ノ情況

軍務局

一山田支隊前面ノ敵ハセーヤ市ヨリ更ニ北方マクーツク地方ニ向ヒ敗走セシ

モノノ如ク依テ該支隊ハ之ヲ急追スル爲九月二十六日ヨリ二十七日ニ亘リ前進

開始ニ概ホセ、如キ姿勢ニ在リ

騎兵第十聯隊ハ二十六日セーヤ市出發北進シ同日午後四時セーヤ市北

方約八里ノ地ニ達シ敵ノ後尾ト約一日行程ヲ隔フルヲ知リ爾後追

撃ヲ續行中ナリ

第一課
第二課
小牧

四、歩兵第七十三聯隊ハ二十六日ゼーヤ市出發同市北方約二十里在
ルカニガキ方向ニ向ヒ追撃中ナリ

ハ、支隊ノ主力ハ二十七日オスウヤンガ(ゼーヤ市西南約十里)及ツイグダ(ウレム
ン西北約十里)出發ゼーヤ市ニ向ヒ前進ス

三、鐵道守備ノ為ニハ歩兵二大隊及米軍一大隊ヲ殘置ス

中、ゼーヤ河掃河ノ為ニ二十日ウラゴウエシテエンスクヲ出發セシ我船團(長歩兵少
佐堀八郎)ハ二十六日オスウヤンガニ着シゼーヤ市ヨリ下流ノ掃河ヲ完了セリ

六、最ニ參一發第三十二師ヲ以テ概要ヲ通報セシ第十二師團由支隊方面死傷詳細在リ如シ
アレキセラスク附近ノ戰鬥ニ於ケル戦死、下士卒八名、負傷、歩兵第四十七
聯隊中尉須永清治、少尉渡邊正雄、特務曹長吉野金太郎、下
士卒約十五

ゼーヤ市附近ノ戰鬥ニ於テ、戦死率一、負傷率二

北滿方面ノ情況、九月十八日黒河ニ到着セル船橋支隊ノ騎兵中隊
ハ同地附近ニ於テ小銃百十機關銃一、電話機二箇ヲ擄獲セリ

參一發第三十九號

大正七年十月二日

參謀總長

通報

九月二十九日賜ハリタル
勅語ニ對シ三十日浦潮派遣
軍司令官及關東都督ヨリ左ノ如ク奉答アリタリ

浦潮派遣軍司令官ヨリノ奉答

與國軍ト協同シテ沿海、黑龍二州ノ敵ヲ擊攘シ得タル

軍務局

第一課

號

台

陛下ノ御稜威ニ依ル今茲ニ優渥ナル
感激ノ至リニ堪エス今後益々奮勵シ
聖旨ニ副ヒ奉ラ
ハ一ニ
ムコトヲ期ス

8830

0681

0680

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

參一發第三十九號

大正七年十月二日

參謀總長

通報

九月二十九日賜ハリタル 勅語ニ對シ三十日浦潮派遣
軍司令官及關東都督ヨリ左ノ如ク奉答アリタリ

浦潮派遣軍司令官ヨリノ奉答

與國軍ト協同シテ沿海、黑龍二州ノ敵ヲ擊攘シ得タル

軍務局

ハ一ニ

第

號

第

百

陛下ノ御稜威ニ依ル今茲ニ優渥ナル 勅語ヲ賜ハリ
感激ノ至リニ堪エス今後益々奮勵シ 聖旨ニ副ヒ奉ラ
△コトヲ期ス

0681 0680

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

關東都督ヨリノ奉答

優渥ナル勅語ヲ賜ハリ感激ノ至リニ堪エス
臣等益々奮勵以テ 叡旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期ス謹テ奉答ス

0682

0880 1880

秘

極秘
參一發第四十號

①

黑龍、後貝加爾兩州及北滿方面情況

林

參謀總長

大正七年十月三日

軍務局

一、山田支隊ニ屬スル步兵一中隊ハ九月二十七日午後二時「ソカラ

」金鑛(「セー」河系ニ屬スル「金鑛」ヲ占領セリ

二、第三師團ハ今後各一部ヲ以テ「ネルチンスク」及「ウエルフネウ

」チンスク附近ニ主力ヲ以テ「チタ」附近ニ位置スル筈ナリ

九月二十八日「チタ」ヲ通過シ西進シタル步兵第六聯隊第三

大隊(三中隊欠)(長 步兵少佐水津寛造)ハ二十九日「ウエルフ

」チンスクニ到着セリ

三、第七師團長ハ爾後黑河守備ノ為大隊長ノ指揮スル二中隊ヲ

残置シ船橋支隊ノ主力ヲ哈爾濱ニ到ラシムル筈ナリ

0683

7.10.

7.10.